

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
岩手県	野田村	令和3年度～令和7年度	令和3年度～令和7年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量				
事業系 総排出量	t	t	t	%
1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
生活系 総排出量	t	t	t	%
1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量				
直接資源化量	t	t	t	%
総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和元年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 /目標
総人口	4,201 人	3,750 人	3,780 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口 2,853 人 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 67.9%	2,921 人 77.9%	2,804 人 74.2%	— 57.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 627 人 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 14.9%	560 人 14.9%	549 人 14.5%	— —300%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			
未処理人口	汚水衛生未処理人口 303 人	57 人	112 人	

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

人口減少に伴う污水处理区域内の人口が減少したことや、既に水洗化率が一定程度向上しているため未整備世帯が減っており、対象となる潜在的な需要が小さくなっていると考えられます。

さらに、高齢者世帯の増加や経済的な負担の増に対する新たな住宅建設や設備投資の意欲が低下しているほか、物価高によって設置費用の負担感が増し、導入を見送る世帯が増えていると考えられます。

これらは、公共下水道及び集落排水施設等を含め全体的な要因と考えます。

3 目標達成に向けた方策

■目標達成年度 令和12年度まで

浄化槽未設置世帯の高齢者世帯等であっても、切り替え余地のある層に的を絞った個別訪問やダイレクトな周知や、村HPや広報紙へ随時掲載などに取り組む。また、経済的な負担の軽減を図るため、村の住宅リフォーム事業奨励金交付事業等の活用や現在実施している嵩上げ補助のさらなる上乗せに期限を設けるなどの検討を図る。加えて生活環境の改善（水洗化による快適性）や水質保全の意義を分かりやすく伝えるよう努める。

公共下水道及び集落排水施設については、未接続世帯への接続促進を重点的に進めるとともに、村の住宅リフォーム事業奨励金交付事業等の活用を促し経済的な負担の軽減を図る。さらに、既存施設の計画的な維持管理や更新及び住民への啓発活動を通じて、污水处理人口の維持・確保と持続可能な事業運営に努める。

（都道府県知事の所見）

住宅建設の減少等により事業進捗が計画を下回ったものの、改善計画には課題解決に向けた対応策が示されている。今後は住民への情報提供及び普及啓発を一層推進し、生活環境の向上に努められたい。